



「約束しましょう」



ごみ減量サポーターの決意



総社市コミュニティ連絡協議会
平松 秀昭 会長

私たちは「総社みんなの約束」という、固い約束をしました。市民一人ひとりの、今以上にごみを増やさない、ごみを減らそうという気持ちが大切。市内各地で減量を訴えていきたい。



総社市婦人協議会
山口 久子 会長

私たちは「^{ごみ}雑紙を資源に」をテーマに、エコと環境にやさしい生活を目指してがんばっている。一人ひとりが、しっかり分別し、ごみを減らす意識を強くもつことで、ごみ減量につなげたい。



総社ブラジル人コミュニティ
譚 俊偉 会長

ごみの出し方や分別などの情報を流し、ごみに対する考え方を再構築してもらおうと考えている。よく理解してもらうことが、良い結果につながると思うので、その点をがんばりたい。



総社市老人クラブ連合会
多田 英雄 会長

各人の自覚が最も大切だと思う。私たちの会合でも再三、ごみ減量の意義を話し、取り組みを呼び掛けている。そして、日々、小さいことからでも取り組み、ごみの減量に協力していきたい。

市 指定ごみ袋の販売額を半額にしたことを機に、ごみの量を増やさないことを市と市民が約束する「総社みんなの約束」の調印が9月22日、市役所で行われました。

写真に署名しました。今回、これからおむね3年後までのごみの量を基に、市指定ごみ袋の販売額を決める変動相場制を導入。約束には、3年後にごみ袋の販売額を再検討することが含まれています。

10月1日のごみ出しから、販売額が従来の半額になった新しい市指定ごみ袋の使用が始まりました。式で市長は、「さらに減らしていく。絶対に増やさない」と強い決意を表明。市では、販売額の値下げによるリバンドの防止策を講じたり、皆さんのもとに出向いて説明したり、生ごみ処理容器の購入費の助成（21ページ関連記事）など、約束の実現に向け、ごみ減量への取り組みを支援します。



「ごみは増やさない」とする約束書に署名・押印するごみ減量サポーター

市民の代表として地域、家庭、企業、学校などのごみ減量サポーター16団体と市は、「ごみは増やさない」と市指定ごみ袋の販売額の変動相場制の実施について約束を交わしました。皆さん、ごみ減量にご協力ください。

増やさない

「ごみは、